

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科		看護学科		科 目 区 分		専門分野	授業の方法	実習
科 目 名		成人看護学実習Ⅱ		必修/選択の別		必修	授業時数(単位数)	75 (2) 時間(単位)
対 象 学 年		3年次		学期及び曜時限		前期	教室名	各実習施設
担 当 教 員		今若広之 他	実務経験と その関連資格	総合病院循環器系内科病棟に看護師として勤務				
《授業科目における学習内容》 周術期、または急激な健康破綻をきたした患者の発達段階をふまえて、身体的・心理的・社会的側面から理解する。また、患者およびその家族に対して、心身の安定を図り、順調な回復過程をたどるための看護援助について学ぶ。								
《成績評価の方法と基準》 1) 実習評価は実習日数の3分の2以上を出席したものを対象とする。 2) 評価は実習の全ての経過を対象とし、評価表に基づいて行う。 3) 実習目標の達成状況ならびに以下のことを踏まえ総合的に評価を行う。 ①実習出席状況 ②事前学習 ③実習記録 ④実習態度								
《使用教材(教科書)及び参考図書》 系統看護学講座 成人看護学① 成人看護学総論 医学書院 国民衛生の動向 厚生労働統計協会 系統看護学講座 成人看護学⑤ 消化器 医学書院 看護技術がみえる2 臨床看護技術 メディックメディア 系統看護学講座 成人看護学⑥ 内分泌・代謝 医学書院 その他各テキスト 系統看護学講座 成人看護学⑧ 腎・泌尿器 医学書院								
《授業外における学習方法》 実習前の事前課題、追加学習に取り組む								
《履修に当たっての留意点》 実習要綱を熟読し実習準備を十分にしておいて下さい。								
授業の方法		内 容				使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
1 日 目	実 習 形 式	授業を通じての到達目標	・病棟の構造と機能、週間予定、日課などの情報を収集することができる。 ・病棟オリエンテーションを踏まえ、患者の入院環境と患者像を理解することができる。 ・受け持ち患者とのコミュニケーションや観察、記録から情報を収集することができる			病院資料	事前課題、成人期の特徴について学習する。	
		各コマにおける授業予定	1) 病院・病棟オリエンテーション 2) 受け持ち患者紹介、挨拶、説明と同意 3) 看護師に同行して援助の見学 4) 担当看護師や受け持ち患者とのコミュニケーションを通して情報収集、情報の整理 5) カンファレンス					
2 ～ 3 日 目	実 習 形 式	授業を通じての到達目標	・手術に伴う不安に対し、不安軽減のための援助を理解できる。 ・手術に向けた準備の必要性が理解できる。 ・チームの一員として連絡・報告・相談することができる。 ・実施した看護を評価・修正することができる。			各テキスト	疾患、検査・治療、看護、看護技術について学習する。	
		各コマにおける授業予定	1) 行動計画発表 2) 看護師に同行して援助の見学、実施 3) 術前に必要な情報収集、情報の整理 4) 受け持ち患者とのコミュニケーション 5) 実施した看護援助をSOAPで記録 6) カンファレンス					
4 ～ 6 日 目	実 習 形 式	授業を通じての到達目標	・手術・麻酔による身体侵襲についてアセスメントし、異常の早期発見・合併症の予防のための援助が理解できる。 ・チームの一員として連絡・報告・相談することができる。 ・実施した看護を評価・修正することができる。 ・実習前半を振り返り、自己の課題を明確にし、後半の実習に臨むことができる。			各テキスト	疾患、検査・治療、看護、看護技術について学習する。	
		各コマにおける授業予定	1) 行動計画発表 2) 看護師に同行して援助の見学、実施 3) 術中の情報収集、情報の整理 4) 実施した看護援助をSOAPで記録 5) 看護問題・看護計画の発表 6) 中間評価(実習5日目) 7) カンファレンス					
7 ～ 9 日 目	実 習 形 式	授業を通じての到達目標	・手術侵襲が日常生活に及ぼす影響を理解し、回復に向けての援助が理解できる。 ・退院後の生活で生じる問題の予防・解決のための援助について具体的に考え、実施することができる。 ・チームの一員として連絡・報告・相談することができる。 ・実施した看護を評価・修正することができる。			各テキスト	疾患、検査・治療、看護、看護技術について学習する。	
		各コマにおける授業予定	1) 行動計画発表 2) 看護師に同行して援助の見学、実施 3) 術後の情報収集、情報の整理 4) 実施した看護援助をSOAPで記録 5) カンファレンス					
1 0 日 目	実 習 形 式	授業を通じての到達目標	・退院後の生活で生じる問題の予防・解決のための援助について具体的に考え、実施することができる。 ・チームの一員として連絡・報告・相談することができる。 ・実施した看護を評価・修正することができる。 ・看護について自己の考えを述べることができる。			各テキスト 実習記録 評価表	レポート、評価表を書いておく。	
		各コマにおける授業予定	1) 行動計画発表 2) 看護師に同行して援助の見学、実施 3) 実施した看護援助をSOAPで記録 4) 最終ンファレンス 5) 実習記録の整理					